

平成27年度事業報告

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

1 概 況

社会を取り巻く環境は、超高齢社会、人口減少社会を迎え、高齢者が生きがいを持って活動する地域社会の形成が大きな課題となっております。このような中、「一億総活躍社会」の実現に向け、平成27年2月の国会において安倍首相が「柔軟かつ多様な働き方」の中で、「高齢者の皆さんに、多様な就業機会を提供する、シルバー人材センターには、更にその機能を発揮してもらいます。」と演説されました。このように「シルバー人材センター」の名を出された施政方針は初めてであり、シルバー人材センター事業は社会を支える不可欠な存在として、ますます重要となっております。

当センターにおいては、「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと、会員・役職員が一丸となりシルバー人材センター事業を推進し、従来の請負による就業だけでなく、指揮命令を受けて就業ができるシルバー派遣事業にも取り組みました。また、安心・安全なシルバー人材センター事業を推進するため、安全就業研修を実施し安全就業の徹底を図りました。

平成27年度の事業実績は、次のとおりです。

会員数 1,000人（前年比 13人）
受託件数 6,537件（前年比 △283件）、
就業延日人員 105,560人（前年比 △1,903人）
就業率 86.0%（前年比 △2.8%）、
契約金額 460,389,462円（前年比 △12,350,876円）

2 事業の実施報告

(1) 就業機会の確保及び提供

高齢者にふさわしい仕事の開拓と提供を行い、会員の就業ニーズに応じた就業機会の開拓に積極的に取り組みました。

- ①就業開拓員が市内企業、病院などを訪問し（延べ807件）就業機会の開拓を積極的に行いました。
- ②就業相談を月2回開催し、就業機会の提供、就業促進に努めました。
- ③役員による企業訪問活動を実施し、発注者との情報交換を行いました。

(2) 適正就業の推進

会員に公平な就業機会を提供するとともに、指揮命令を受けて就業ができるシルバー派遣事業にも取り組みました。

- ①シルバー派遣事業として4件の受注を受け、5名の会員が派遣会員として就業しました。
- ②公平な就業機会を提供するため、24の就業場所で就業交代を実施しました。

(3) 安全就業の推進

安心・安全なシルバー人材センター事業を推進するため、安全就業研修を実施し安全就業の徹底を図りました。

- ①健康管理対策として、健康診断の受診を奨励し、自主的な健康管理を推奨いたしました。
- ②安全適正就業委員による就業現場の巡回指導を毎月実施し、安全就業の徹底を図りました。(実施回数57回)
- ③植木剪定や草刈り作業に従事する会員を対象とした、安全講習を3回実施しました。(参加者71名)
- ④新入会員を対象とした、安全就業研修を実施しました。(参加者76名)
- ⑤就業会員全員を対象に、就業中の事故防止や交通事故防止のための安全研修を10回に分け実施しました。(参加者582名)
- ⑥チェーンソーを使用する作業に従事する会員を対象に、特別教育講習を実施しました。(参加者13名)

(4) 普及啓発活動の推進

シルバー人材センター事業を多くの人に知っていただくため、市内イベントに参加するなどの普及啓発活動を実施しました。

- ①シルバー人材センター事業のPRパンフレットを作成し、市の広報と伴に全戸配布を実施しました。
- ②鷺宮地区コミュニティ祭りや久喜市民祭りに参加し、シルバー農園で収穫した野菜の販売を行いシルバー事業のPRを実施しました。
- ③市内4地区を巡回し、入会者説明会を実施しました。(参加者228名)

(5) 研修会・講習会の開催

高齢者や会員の就業に必要な、技能習得のための講習会を開催しました。

- ①60歳以上の市民を対象とした植木剪定体験講習を開催し、24名の方が受講しました。
- ②会員の資質の向上を目的とし、接遇力向上研修を実施し公共の管理業務に就業している会員46名が受講しました。

(6) 組織運営体制の充実

公益社団法人としての適正な運営と円滑な事業推進を図るため、組織体制の充実

と職員の資質向上に努めました。

- ①中長期策定委員会を設置し、平成32年度までの中長期事業推進計画の策定に取り組みました。
- ②全国シルバー人材センター事業協会や埼玉県シルバー人材センター連合主催の各種研修会に参加し、職員の資質向上に努めました。
- ③会員相互の交流とセンター事業への参加意識を高め、会員相互の交流と会員とセンターとの意思疎通を図るため地区懇談会を開催しました。
- ④女性会員のネットワークの構築のため、女性部会設置の検討を行いました。